

2013年12月16日

各 位

積水ハウス株式会社

**「共創」による研究開発拠点「SUMUFUMULAB(住ムフムラボ)」
開設7カ月で来場者延数15万人を突破、「共創」研究開発も着実に進展**

積水ハウス株式会社（本社：大阪市北区、社長：阿部俊則）が、4月26日（金）に「グランフロント大阪・ナレッジキャピタル」内に開設した「共創」による研究開発拠点「SUMUFUMULAB（住ムフムラボ）」は開設以来、多くの方々にご愛顧頂き、開設から約7ヶ月にあたる11月末時点で、来場者延数が15万人を突破致しました。

また、「住ムフムラボ」に来場、研究メンバーとして登録いただいた「住ムフム研究メンバー」も約4,000人となり、多くの生活者、多様なセクターとの「共創」に基づく研究開発も着実に進んでいます。

◇「共創」研究風景

◇イベント風景



研究開発品評価会



グループインタビュー



夏休みワークショップ



セミナー

■開設以来の実績

○来場者延数

4月26日～11月30日の来場者延数は15万7000人となり、年間来場想定を約7ヶ月で突破しました。

○イベント・セミナー開催実績

ナレッジキャピタルに出展する他企業や多様なセクターと協働し、7ヶ月間で100日以上、セミナー・イベントを開催し、延べ約5,000人の方に参加いただきました。

○住ムフム研究メンバー数

「住ムフムラボ」に来場し、研究メンバーとして登録いただき、当社研究員とともに「共創」研究に協力いただく住ムフム研究メンバー数は、12月10日時点で3,962人です。参加意欲が高いメンバーが多く、「共創」研究を円滑に進めていく基盤が整いました。

<「共創」研究に参加したメンバーの声>

- ・新しい研究の一端が見れて大変よかった（60代・女性）
- ・住まいに関して、他人の意見を聞けるだけでも十分来る価値があると感じた（20代・男性）
- ・いろいろな研究がされていることが分かった。皆さんの意見を伺えたのが参考になった（30代・男性）
- ・これまで、住まいに自分が合わせるものだと思っていたが、自分の心地よさを考えてみると、自分が心地よさを住まいに求めるものだと気付いた（30代・女性）

○様々なパートナーとの「共創」事例

- 研究：住ムフム研究メンバーや来館者と研究ワークショップを7ヶ月間で89回開催、1,082人が参加。
 - ・ダイアログ・イン・ザ・ダーク（DID）～「対話のある家」の空間を用いた研究。
 - ・本田技研工業株式会社～ロボティクス技術の住宅内での活用を目指した研究。
 - ・日本アイ・ビー・エム株式会社～キッチン空間で「食」と栄養に関する研究。
 - ・スマートユニバーサルデザインにおける研究開発品評価会を開催。2014年に実用化予定。
- イベント：DID「対話のある家」は、7ヶ月間で594回開催、3,427人に参加いただきました。

今後も「住ムフムラボ」を活用し、つねにある快適を先進の技術で実現する「SLOW & SMART」を具現化する新たな「暮らし」にまつわる“価値”を積極的に発信してまいります。